

基本情報技術者試験の午後試験で出題されるソフトウェア開発問題では、何種類かのプログラム言語の中から1問を選択して解答します。プログラム言語の種類はC、COBOL、Java、アセンブラ、表計算（プログラム言語外）です。本書をご覧の皆さんは、このうちJavaを選択する予定でいることと思います。

午後試験の出題内容と配点は、次の通りです。

#### 基本情報技術者 午後試験の問題一覧と配点

問番号	解答方法	出題分野	配点割合
問1	解答必須	情報セキュリティ	12点
問2～問7	6問中4問選択	ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、ソフトウェア設計、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略・企業と法務（選択問題）	各12点
問8	解答必須	データ構造及びアルゴリズム（疑似言語問題）	20点
問9～問13	5問中1問選択	ソフトウェア開発（プログラム言語問題など）	20点

出典）試験要綱 Ver 3.0

午後試験の合格基準点は60点です。実際のところ、プログラム言語問題は解答必須ではないので、例え切り捨てても、他の問題で点が取れば、合格することができます。ですが、**プログラム言語問題は配点が高いため、選択したほうがお得です。**

さらに、解答必須である疑似言語問題は、CやJavaなどのプログラム言語と非常によく似ているため、プログラム言語を勉強しておく、こちらも自然と点が取れるようになります。

ここで配点に注目して、午後試験クリアまでの道のりを考えてみましょう。

プログラム言語問題と疑似言語問題を全て正解することができれば、合計で40点になります。

午後試験の合格基準点まではあと20点取ればいいので、前半の必須問題と選択問題の中から2～3問をきっちりと正解すれば、午後試験をクリアするのはそんなに難しいことはありません。4問正解できれば、余裕で合格できます。

午後試験の問題は午前試験のそれと比べて、特に難しいわけではありません。**一番の敵は時間切れになること、です。**

### ■ 基本情報技術者 午後試験 解答時間の目標

プログラム言語問題	: 30分	.....	正解!	20点	
擬似言語問題	: 30分	.....	正解!	20点	
+ 問1～問7中4問	: 20分×4	.....	+ 正解!	12点×4問	
<b>140分</b>			<b>88点以上</b>		
(試験時間は150分)			(合格基準点は60点)		

午後試験の試験時間は150分ですが、ここで時間配分を間違えてはいけません。まず、プログラム言語問題と擬似言語問題を、最初に必ず解きましょう。解答時間は30分ずつを目標とし、残りの90分で必須問題の問1と問2～問7の選択問題をやっつけます。これらの問題は、まずは問題をざっと見て、解けそうなものから手をつけましょう。1問20分を目標にすると、4問は解けるはずですが、問1は必須問題ですが配点は問2～問7の選択問題と同じなので、難しそうだったら選択問題を4問きっちり解答したほうがいいでしょう。

もしもプログラム言語問題と擬似言語問題を解くのに90分ほどかかったとしても、残りの60分で問1～問7の中から3問を解きましょう。

#### 基本情報技術者 午後試験 合格基準点をクリアするポイント

- ① プログラム言語問題と擬似言語問題は必ず解く。時間配分は、それぞれ30～40分とする。
- ② 問1～問7は、時間配分を1問20分、4問解答を目標にする。
- ③ 見直しは、問ごとに手短に行う。

このポイントを守れば、午後試験の合格基準点をクリアするのは、そう難しいことではありません。ですが、これはJavaをしっかりと学習して、プログラム言語問題と擬似言語問題で確実に点を取ることが前提です。逆にいえば、Javaを勉強して点が取れるようにしておけば、午後試験対策はバッチリ!ということになります。

これまで、「あと1問正解すれば合格できたのに…」と悔しい思いをした人や、「普段Javaを使っているのに（又はJavaを勉強したことがあるのに）、なぜか試験問題に正解できない」と苦手意識をもっている人は、ぜひ、本書を使って効率よく学習を進め、正解するためのコツを掴み、次の試験には自信をもって臨んでください。

坂下 夕里